



はじめての粘土遊び

R8.4.28(火) ちゅうりっぷ組

今日は、ちゅうりっぷ組になってからはじめての粘土遊びをしました。恐る恐る粘土をちょっと触ってみる姿が見られました。新品の粘土は硬くてなかなか割けず、「できない～」と言う子どもたち。保育者が切り目を入れてあげると、カいっばいねじって小さく分けることができました！指で小さく粘土をちぎったり、小さくしたものを重ねたりと思い思いに楽しみました。粘土を重ねて「おやま作った！」と言ったり、「アイス作って～」と保育者をお願いしたりと、見立てて遊ぶことも楽しんでいました。



子どもたちが進級当初からずっと気になっていた粘土遊びをじっくり集中して楽しむ姿が見られました。保育者や友だちと一緒に粘土の感触を楽しみながら、手指を使ってちぎったり、のばしたりと楽しむことができました。粘土遊びを通して、手指の発達を促しながら、自由に形を作ったり、見立てたりすることを楽しんでいきたいです。



クッキング☆いちごみるく



ミックスジュースの手遊びやブロックをジュースに見立てて、普段から楽しんでいる子どもたち。本物のミックスジュースが作れたら喜ぶのでは…と思い、今日の朝のおやつがいちごと牛乳だったので「いちごみるく」を作ってみました。保育者が作る様子を真剣に見ていましたよ。みんなで乾杯をして飲みました。「おいしいね～」と話しながらおやつを楽しみましたよ。子どもたちが食材に触れ、調理に関わる機会をたくさん設けていきたいです。



牛乳の色が変わったね！

